

## 山形県の古木・名木 No.12

# 本覚寺の左右のマツ (ほんがくじのさゆうのまつ)

村山市楯岡橋3712 本覚寺内

村山市楯岡の本覚寺の境内にある臥龍型のアカマツである。

主幹の高さ4.4m、地上55cmのところの幹回り2.5m、枝は四方に地面に張り、東に7.6m、西に7.2m、南に6.9m、北に5.7mに達している。文化文政のころ、俳人鈴木左右が植えたものと伝えられ、「左右のマツ」呼ばれている。樹齢は、約三百年と推定され、昭和27年に山形県天然記念物に指定されている。

〔山形県林業改良普及協会〕

(案内略図)



【森林やまがた36号(2000年3月)記載】